

NEWS RELEASE (2021年6月29日) 取材依頼

絶滅の危機に瀕する美しいゴキブリを宮古島から新種として発表

～ゴキブリとしては初めて「種の保存法」における緊急指定種に指定される～

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。本学農学部坂巻祥孝准教授らのグループは、絶滅の危機に瀕する美しいゴキブリを宮古島から新種として発表しました。つきましては、次のとおりお知らせいたしますので、是非取材方お願いいたします。

【概要】

鹿大農学部害虫学研究室坂巻祥孝准教授、竜洋昆虫自然観察公園柳澤静磨職員、法政大学島野智之教授らのグループが宮古島から発見したゴキブリ（昆虫亜綱）1種を新種として SPECIES DIVERSITY 誌 26 巻 2 号に発表（6/17 OnLine 版公開）した。この新種ゴキブリは、その希少性から与那国島にのみ生息するウスオビルリゴキブリとともに令和 3 年 7 月 1 日～令和 6 年 6 月 30 日まで、種の保存法における緊急指定種に指定され、ゴキブリ類で初めて捕獲・殺傷・販売などが法律下で禁止される。

【内容】

詳細は添付した別紙（ベニエリルリゴキブリ プレスリリース）の通り。
なお、このプレスリリース情報は竜洋昆虫自然観察公園と同時リリースである。

【問い合わせ先】

農学部害虫学研究室 准教授 坂巻祥孝
099-285-8684
ysaka@agri.kagoshima-u.ac.jp

絶滅の危機に瀕する美しいゴキブリを宮古島から新種として発表

種の保存法における緊急指定種に指定され、捕獲・殺傷・販売すると罪に問われることに

～捕獲・殺傷・販売などが法律下で禁止されるのは、絶滅の危機に瀕する美麗ゴキブリ新種（宮古島から記載）と、与那国島にのみ生息するウスオビルリゴキブリの2種。ゴキブリとしては初めて「種の保存法」における緊急指定種に指定される～

発表のポイント

・宮古島からみつかったゴキブリ類（昆虫亜綱）をベニエリルリゴキブリ（新種）として発表

・発見した新種は絶滅の危機に瀕している

・新種ゴキブリは、与那国島にのみ生息するウスオビルリゴキブリとともに令和3年7月1日から令和6年6月30日までの3年間、種の保存法における緊急指定種に指定され、ゴキブリで初めて捕獲・殺傷・販売などが法律下で禁止される

・森林で分解者として有益な森林性ゴキブリ類の日本での多様性解明を一步進めた

ルリゴキブリ属のゴキブリは日本では近年まで石垣島、西表島に生息するルリゴキブリ *Eucorydia yasumatsui* の1種のみが知られていた。しかし2020年11月、竜洋昆虫自然観察公園柳澤静磨職員、鹿児島大学坂巻祥孝准教授、法政大学島野智之教授らからなる研究チームの研究で宇治群島家島、吐噶喇列島悪石島、奄美群島奄美大島、徳之島に分布するアカボシルリゴキブリ *Eucorydia tokaraensis*、与那国島にのみ生息するウスオビルリゴキブリ *Eucorydia donanensis* の2種を発見、新種として記載した。これによって日本産ルリゴキブリ属は3種となったが、さらに今回、同チームは沖縄県宮古島から新たにルリゴキブリ属のゴキブリを発見、新種として記載した。

ゴキブリは害虫として知られ「黒い」「汚い」イメージであるが、日本（南西諸島）を北限として、東南アジア、南アジアまで分布するルリゴキブリ属のゴキブリは、いずれも非常に美しい青色の金属光沢や、鮮やかな橙色の紋などを持ついわゆる美麗種である。人家に出入りすることはなく、通常、森林内の朽ち木内などで、腐植質などを餌に生活をしている。

現在、日本産ゴキブリは61種（2021年6月に他のゴキブリ新種が追加されたため）が知られており、今回1種を新種として記載したため、合計62種となった。このうち、人家の中に出現するのは1割程度であり、それ以外のゴキブリは、森の朽ち木や洞窟などに生息して、朽ち木などの有機物を食べて生活しており、人間とはほとんど関わりのない生活をしている。

今回記載されたベニエリルリゴキブリ *Eucorydia miyakoensis* (ユーコリディア・ミヤコエンス) は宮古列島宮古島にのみ生息し、オスの全長が 12.5~13.0 mm、上翅の基部に黄赤色の微毛を持ち、上翅中央部には明瞭な黄赤色の帯状紋を持つことが特徴である。

今回の研究では日本産のルリゴキブリ属の系統関係を解明するために DNA 解析を 6 遺伝子座に関して行った。その結果、日本産のルリゴキブリ 3 種とは、明瞭に別種となり、我々の形態による分類の結果を支持した。

本ゴキブリ種は宮古島にて生息可能な環境が非常に限られていることから、記載された現時点ですでに絶滅の危機に瀕していると考えられる。そのため、昨年 11 月に与那国島から記載されたウスオビルリゴキブリ *Eucorydia donanensis* とともに 2021 年 7 月 1 日、「種の保存法」における緊急指定種として指定され、捕獲・殺傷・販売などが法律下で制限される。日本におけるゴキブリ類の種の保存法による指定は初めてである。

忌み嫌われているゴキブリとはいえ、彼らは生態系の 1 ピースであり、分解者として重要な役割を持っている。自然を保護していくためには、好かれている人気者だけを保護すればいいのではなく、生態系を広く捉え、保護が必要と考えられる種にはそれがたとえ人間から嫌われている生き物であろうと、適切な対応を行っていくことが重要である。今回の発表は、多くの方にゴキブリという生き物や、生き物を保護することへの関心をもっていただく機会になると考えている。

■発表雑誌： Species Diversity (日本動物分類学会)

■論文タイトル： A New Species of the Genus *Eucorydia* (Blattodea: Corydiidae) from the Miyako-jima Island in Southwest Japan

<https://doi.org/10.12782/specdiv.26.145>

■著者： Shizuma Yanagisawa, Shimpei F. Hiruta, Yositaka Sakamaki, and Satoshi Shimano (竜洋昆虫自然観察公園柳澤静磨職員、国立科学博物館蛭田真平博士、鹿児島大学坂巻祥孝准教授、法政大学島野智之教授)

■ 2021年6月17日 オンライン公開

■連絡先：農学部害虫学研究室 坂巻祥孝
ysaka@agri.kagoshima-u.ac.jp



ベニエリルリゴキブリ オス(柳澤静磨撮影)